

# 平和運動センター通信 原水禁ヒロシマニュース

■発行：広島県平和運動センター  
原水爆禁止広島県協議会（広島県原水禁）  
■〒733-0013 広島市西区横川新町7-22 自治労会館 1階  
■TEL:082-503-5855 FAX:082-294-4555  
■E-mail:h-heiwa@chive.ocn.ne.jp  
■広島県原水禁 ホームページ <http://www.hiroshimaken-gensuikin.org/>  
ー子どもや孫たちに、戦争も核もない、美しい地球を！ー

No. 187

2016年  
7月号  
(7月1日)

発行責任者  
藤本講治

## ――目次――

- 1頁：7月の活動予定（7/1現在）  
2頁：平和運動センター第7回幹事会を開催（6月19日）  
「2016平和運動センター構成組織交流会」開催（6月19日）  
3頁：「戦争法廃止！安倍内閣退陣！6・5ヒロシマ集会」  
戦争法廃止！安倍政権退陣！6・19行動  
4頁：地区労だより（竹原地区労センター）  
「被爆71周年原水爆禁止世界大会」成功に向け 広島県実行委員会結成  
・第1回実行委員会（6月20日）  
5頁：「第19代高校生平和大使」派遣カンパにご協力ください！  
6頁：第35回反核平和の火リレー（6月29日～7月22日）  
7頁：部落解放県共闘が6月「就職差別撤廃月間」要請行動  
10頁：新聞に見る「ヒロシマ」（5/27～6/26）  
11頁：ご案内〔ストップ！戦争法7月街頭行動〕  
〔被爆71周年非核・平和行進〕  
〔被爆71周年原水爆禁止世界大会広島大会〕  
〔被爆71周年原水爆禁止世界大会長崎大会〕

### 【7月の活動予定】

- 1日(金)13:00 原水禁広島大会会場打ち合わせ会＝県立体育館  
18:30 日朝友好広島県民の会 2016年度第1回幹事会＝広島朝鮮会館  
2日(土)13:00 広島弁護士会・シンポジウム「憲法を護ろう！」＝広島国際会議場  
6日(水)17:30 高校生平和大使・高校生1万人署名活動実行委員会サポーター会議＝広教組会議室  
9日(土)13:00 被爆二世相談日＝平和運動センター事務所  
12日(火)14:00 中国ブロック平和フォーラム・原水禁代表者会議＝岡山市  
13日(水)17:00 広島県原水禁7月常任理事会＝自治労会館  
18:00 被爆71周年原水爆禁止世界大会第2回広島県実行委員会＝自治労会館  
18:30 「ストップ！戦争法ヒロシマ実行委員会」世話人会＝広島弁護士会館

15日(金)13:00 第53回護憲大会実行委員会＝連合会館  
 14:00 平和フォーラム第2回運営委員会・原水禁常任執行委員会＝連合会館  
 16:00 被爆71周年原水爆禁止世界大会実行委員会＝連合会館  
 19日(火)17:30「ストップ！戦争法ヒロシマ実行委員会」街頭行動＝広島市・本通り  
 18:00 平和運動センター第8回常任幹事会・第4回幹事会・地区労代表者会議＝自治労会館  
 22日(金)18:00 「第35回反核平和の火のリレー」到着式＝平和公園  
 24日(日)10:00 部落解放同盟広島県連合会第68回定期大会＝福山市人権交流センター  
 27日(水)12:30 非核・平和行進東部コース出発（岡山県から引き続き）＝福山市  
 28日(木)～8/6(土) 原水禁世界大会広島大会事務所開設＝自治労会館  
 30日(土)9:00 非核・平和行進北部コース出発＝庄原市役所  
 13:00 被爆71周年原水爆禁止世界大会・福島大会＝福島県教育会館  
 31日(日)10:00 JR西労中国地域本部第8回定期大会＝ワークピア広島  
 8/1日(月)10:00 非核平和行進西部コース出発（山口県から引き継ぎ）＝大竹市

## 平和運動センター第7回幹事会を開催（6月19日） ＝原水禁世界大会広島大会の成功に向けご協力を！＝

6月19日、ワークピア広島において第7回常任幹事会を開催しました。当日は、午前中、第19代高校生平和大使結団式、午後は戦争法廃止「19日行動」を行った後、開会しました。佐古議長のあいさつの後、議事に入りました。

報告事項では、「戦争法廃止！安倍内閣退陣！6.5ヒロシマ集会」、「戦争法廃止19日行動」や「広島朝鮮初中高級創立70周年記念行事（6月12日）」などについて報告を行



広島朝鮮初中高級学校創立70周年記念行事

いました。協議事項は、①被爆71周年原水禁世界大会広島大会の成功に向け、実行委員会を結成して準備に入ること。②「第19代高校生平和大使」派遣カンパに取り組むこと。③部落解放県共闘会議の取り組みでは、6月「就職差別撤廃月間」要請を行政機関に行うことや世界人権宣言の実現を求める実行委員会学習会（8月20日）への参加などについて確認しました。

安倍政権の暴走政治の流れに抗して、非核・平和行進や原水禁世界大会広島大会など夏場の平和行動に積極的に参加いただきますようお願いいたします。

## 「2016 平和運動センター構成組織交流会」開催（6月19日） ＝平和運動センター・地区労の運動を強化しよう＝

6月19日、17時からワークピア広島において、15労組・地区労北部ブロック（2地区労）・地区労南部ブロック（3地区労）から46人が参加して「2016 平和運動センター構成組織交流会」を開催しました。

開会にあたり佐古議長は、「平和運動センターの加盟組織は官・民そして、大・小ささまざまな組織があり、運動をする



にあたっては、いろんな制約がありながらも頑張っている。相互理解のもとで運動を進めていこうということで交流会を催している。「安倍政権の誕生とともに、平和運動センターの活動は非常に忙しくなってきた。安倍政権の暴走を止めるため、ここが踏ん張りどころだと檄を飛ばしている。今日は緊張感をほぐして、労組間の交流を深めていただきたい」とあいさつしました。

今年の交流会には、平和フォーラム藤本泰成代表や「戦争をさせないヒロシマ1000人委員会」呼びかけ人のみなさん（秋葉忠利さん、山田弁護士、石口弁護士、県護憲・檀上正光さん、I女性会議・佐藤奈保子さん、市民団体・久野成章さん）にも出席いただき、平和運動センターの運動を共有していただきました。交流会は、食事をとりながら労働組合の紹介や地区労の活動状況などを述べていただき、参加者の交流を深めてきました。

休日の夕刻にもかかわらず出席いただきました構成組織のみなさん、ありがとうございました。



【労組紹介する全自交労働組合】

## 「戦争法廃止！安倍内閣退陣！6・5ヒロシマ集会」 ＝原爆ドーム前集会とデモに1,000人＝

6月5日、戦争法廃止！安倍内閣退陣を求めて4万人が参加して、6.5総がかり大行動が国会周辺で展開されました。広島では、「ストップ！戦争法ヒロシマ実行委員会」主催で原爆ドーム前において、約1000人が参加して集会を開催。参議院選挙勝利、戦争法の廃止、安倍政権退陣のために市民と野党が結束して闘っていくことを確認しました。

集会では、野党（民進党・社民党・新社会党・生活の党・共産党）の代表者、平和団体（平和運動センターなど）・労働団体（連合広島など）や大学教員、ママの会の代表者が「被爆地ヒロシマから戦争法廃止の声を上げよう」と訴えました。集会後、繁華街をデモ行進して、平和憲法を守ろうと訴えながら歩きました。なお、会場で取り組みましたカンパは、260,186円のご協力をいただきました。



## 戦争法廃止！安倍政権退陣！6・19行動 ＝「19日街頭行動」は続きます＝

6月の戦争法廃止！安倍政権退陣「19日行動」は、6月19日に実施しました。戦争をさせないヒロシマ1000人委員会は、14時から広島・八丁堀福屋前において約40人が参加して街頭署名活動を行い、70筆の署名を集約しました。「戦争法の廃止を求める統一署名」は、5月19日に第1次集約分の1,294万4,852筆を国会に提出し、7月



10日に行われる参議院選挙に向け、署名活動を6月末まで継続し、2000万筆をめざして取り組みが行われました。

平和運動センターでは、各労働組合・団体、そして街頭行動で取り組んだ署名数55,196筆（6月28日現在）を集約しました。「戦争をさせないヒロシマ1000人委員会」は、秋の臨時国会の開催や9.19強行採決から1年を迎えることなどを考え、引き続き、「19日行動」を取り組みますので、街頭行動への参加をお願いします。



## 地区労だより【竹原地区労センター】

### ＝2016年の非核・平和行進に全力投球＝

竹原地区労センター（三好議長：竹原市職労）は、竹原市職労・広教組・高教組を中心として活動を行っています。ここ数年来、決して活動が盛んに行われている状況にはありません。そのような中ではありますが、毎年7月30日に行われる非核・平和行進については、大崎地区労と合同で行っています。

昨年度、地区労運動の発展を目指して、大崎地区労センターとの統合の議論を行いました。議論を行う中で、「市町村合併のように合併をしても運動が発展的にならないのでは??」「急に統合するとうような事をせずに、もう一度、各地区労センターで平和行進を取り組もう」などの意見から、今年度は、大崎地区労と連携を密にしながら非核・平和行進を取り組むことになっています。



2015非核・平和行進の様子

具体的には、まずは、一人でも多くの仲間に参加してもらうことが重要だと考えています。幸い、今年度の非核・平和行進は土曜日開催になるため、「例年より参加者が増えるのでは・・・」と期待をしています。これまで、参加者の募集をしている時期も見直し、早め早めの取り組みを目指しています。

目標は50名の行進です。梅雨も明け、暑い時期ですが50名の仲間と平和・民主主義の大切さをかみしめながら、一步一步ゴールまでの道のりを行進していきたいと思っています。（竹原地区労センター事務局長 岡 啓介）

## 「被爆71周年原水爆禁止世界大会」成功に向け

### 広島県実行委員会結成・第1回実行委員会（6月20日）

#### ＝第2回実行委員会は7月13日に開催します＝

6月20日、平和運動センター・県原水禁は、8月4日から開催される被爆71周年原水爆禁止世界大会の成功に向け加盟団体などから81人が参加して、広島県実行委員会の結成総会・第1回実行委員会を開催しました。

総会では、大会参加の呼びかけ文や世界大会の日程を確認し、実行委員会の構成と役員、大会に関わる各種要請事



項などについて決定しました。

開会にあたり、県原水禁の秋葉代表委員は、「昨年是被爆70周年、節目の年であったが今年も重要な大会である。みなさんの力が是非必要である。今日の実行委員会結成を機に大会成功に向けご協力をいただきたい」「1986年、レーガン、ゴルバチョフ二人の首脳会談で、すべての核兵器を廃絶すると合意をしていたが、さまざまな障害があって実現しなかった。そこに欠けていたものは、公開とたくさんの方がそれを知り、バックアップすることであった。都市や地方自治体の役割、民主的な団体である労働組合の役割が重要である。今度こそ核兵器廃絶を実現するために我々の力でそれをバックアップしよう」とあいさつしました。

続いて、19日に結団式を終えた第19代高校生平和大使・広島選出の県立広島高校の岡田さん、ノートルダム清心高校の吉田さん、広島市立舟入高校の伊藤さんの3人から「平和大使として世界に被爆者の思いを発信していきたい」と決意がありました。

総会終了後の学習会では、藤本泰成平和フォーラム代表・原水禁国民会議事務局長から「日本政治の現状と原水禁の課題」と題して講演を受け、被爆71周年原水禁世界大会の意義と課題について共有しました。藤本事務局長は、改憲、戦争法、格差・貧困、原発、アベノミクスなど安倍政治の暴走が続いている。私たち原水禁は、3.11以降、「一人ひとりの命に寄り添う」社会のあり方、社会構造のつくり方をめざして運動をがんばってきた。「核も戦争もない平和な社会」をつくり上げるため、大会を通じて学び合い、行動に結びつけていこうと訴えました。

私たちは安倍政権の強権政治に抗し、「いのちと人権」が尊重される世界をめざし、原水禁広島大会をぜひ成功させなければなりません。様々な行動を要請していますので、ご協力をお願いします。



## 「第19代高校生平和大使」派遣カンパにご協力ください！

＝広島から岡田さん、吉田さん、伊藤さんの3人が国連欧州本部訪問＝



岡田実優さん(県立広島高校1年)・吉田菜々子さん(ノートルダム清心高校2年)・伊藤美波さん(広島市立舟入高校2年)

2016年「第19代高校生平和大使」派遣団(22人)の一員として、広島県から岡田実優さん(広島県立広島高校1年)、吉田菜々子さん(ノートルダム清心高校2年)、伊藤美波さん(広島市立舟入高校2年)の3人が、8月13日～20日にかけてジュネーブ国連欧州本部を訪問し、高校生1万人署名活動で集めた核兵器の廃絶と平和な世界の実現を求める署名簿を提出、核兵器廃絶を求めるスピーチを行います。

高校生平和大使の国連派遣や活動は、皆さまからの温かい募金によって行われております。昨年度も多くのおみなさまのご賛同をいただき、1,898,477 円のカンパをいただき、ジュネーブへの高校生派遣費用や広島・長崎研修、会議の旅費など第 18 代高校生平和大使の活動に使わせていただきました。

若い声と力をさらに広げるための活動を支えるため、「高校生平和大使」派遣カンパに取り組めますので、趣旨をご理解いただき、カンパへのご協力をお願いいたします。

- ①カンパ額 団体=1口/10,000円 個人=1口/200円
- ②振込先 ●中国労働金庫本店 No.6966557 広島県平和運動センター  
●郵便振替口座 01380-8-11372 加入者名：広島県原水禁
- ③取り組み期間 6月～8月末日まで



18代高校生平和大使  
(井上つぐみさん・脇原華怜さん)



ジュネーブ・国連軍縮局訪問  
(2015. 8. 18)



核兵器廃絶のための署名活動  
(平和公園・元安橋)

【取扱い団体】

広島県平和運動センター・原水爆禁止広島県協議会（広島県原水禁）  
広島市西区横川新町 7-22  
〔TEL〕 082-503-5855 〔FAX〕 082-294-4555

## 第 35 回反核平和の火リレー（6 月 29 日～7 月 22 日） ＝「ヒロシマの心」つなぎ、平和公園を出発＝



6 月 29 日、核廃絶を訴える「第 35 回反核平和の火リレー」の出発式が平和公園・原爆慰霊碑前で行われました。

「平和の火リレー」は、ヒロシマ・ナガサキの体験を風化させず、核のない平和な社会をつくろうと 1982 年から始められ今年で 35 回となります。県内 23 全市町を走り継ぎながら、自治体当局に対して平和行政の推進・充実の要請を行っていきます。

出発式では、原爆慰霊碑前で献花・黙とうを行い、「平和の灯」を採火した後、平和運動センター議長・広島県原水禁代表委員の佐古議長から「平和の火リレーは核と人類は共存できないとする反核運動を発信する取り組みであり、平和運動センターは力強く支援していく」と激励のあいさつを行いました。その後、ランナーを代表して広島県平和友好祭実行委員会の新田康博委員長（私鉄広電）が、「平和の火リレー運動を通して被爆地ヒロシマから『核と人類は共存できない』ことを訴えていく」と力強く決意を述べ、第一走者の 8 人のランナーが平和への願いを込めてスタートしました。

7 月 22 日、平和公園に到着するまで県内の働く仲間、被爆者、被爆二世・三世、子



どもたちがみなさんの街を走り継ぎますので、ランナーを見かけたらご声援をお願いします。

## 部落解放県共闘が6月「就職差別撤廃月間」要請行動

＝広島労働局・広島県教委・広島県へ（6月20日・27日）＝



〔広島労働局〕



〔広島県教委〕



〔県雇用労働政策課〕

部落解放広島県共闘会議は、就職差別撤廃月間の6月20日、27日に関係行政機関（広島法務局・県教委・広島県）に公正な採用選考の徹底などを内容とする「就職差別撤廃に向けた要請行動」を行いました。

要請にあたり県共闘佐古議長から、冒頭、今年から連合広島が県共闘に加盟した。就職差別撤廃に向け、ともに取り組みを行うこととなった。と述べ、「今日、部落地名総鑑・復刻版の販売やネット上で部落差別を持ち込むなど、許しがたい差別事件が後を絶たない。就職に際しても差別につながる選考が行われないよう取り組みの強化をお願いしたい」と訴え、要請書を提出しました。

労働局（片岡信彦・職業安定部職業対策課長）からは、「毎年6月、採用公募時期に県内すべてのハローワークにおいて公正採用選考が行われるよう研修会を実施している。また、面接時に家族構成など不適切な質問を行った企業に対して直接、訪問して指導を行っている」。県教委（佐藤哲義・管理部総務課秘書広報室長）からは、「広島県高等学校就職問題検討会などを通じて取り組んでいきたい」。県行政（新谷昭夫・商工労働局雇用労働政策課長）からは、「毎年、教育委員会、環境県民局、商工労働局の連名で統一応募用紙の趣旨など公正採用選考を行うよう各事業所へ要請を行っている。また、労働局を含めて関係部署と連携して取り組んでいく」等の回答があり、今後も継続して各団体で就職差別の撤廃、公正なワークづくりに向け取り組んでいくことを申し合わせました。

2016年6月20日

広島労働局長  
内田 昭宏 様

部落解放広島県共闘会議  
議長 佐古 正明

### 就職差別撤廃に向けた要請書

平素より、部落差別をはじめ、あらゆる差別の撤廃と人権確立に向けて尽力されておりますことに心より敬意を表します。

さて、就職は一人ひとりの人間が生きていく上で極めて重要なものであり、雇用関係の入り

口という意味においても大きな意味を持つものです。そのため、公正な採用選考が行われるように、国や自治体、教育関係者、民間団体等が尽力してきたところであります。

しかし、今日においても差別につながる応募用紙の書式や面接での質問が後を絶ちません。さらには、戸籍不正請求事件等による差別身元調査事件や、「部落地名総鑑・復刻版」の販売を目論む者が現れる等、1975年の部落地名鑑事件の再発が懸念される由々しき事態となっています。

つきましては、就職差別撤廃に向けた、以下の取り組みを実施されますよう要請します。

#### 記

1. 公正採用選考を徹底するため、「統一応募用紙」の趣旨、「職安法第5条の4」と大臣指針」を周知徹底されたい。

周知徹底にあたっては、通年的な取り組みだけにとどまることなく、就職差別撤廃強化月間を設定いただくなど、関係行政機関や関係団体と連携しながら、啓発活動など幅広い県民運動を展開されたい。

2. 県内の公正採用選考人権啓発推進員の設置状況、ハローワークにおける研修の実施状況・出席状況、企業トップの研修の実施状況・出席状況を明らかにされたい。

また、「統一応募用紙」違反事象の状況、および違反企業への指導状況を明らかにされたい。

3. 「統一応募用紙違反」の違反を見逃さず、無くしていくため、県およびに教育委員会との連携のもと「就職受験結果報告書」に取り組みおられるが、取り組みの現状を明らかにするとともに、普及拡大に尽力されたい。

また、新規学卒者以外の求職者に対し、ハローワークなどの窓口で啓発を行うとともに、就職面接後の聞き取り調査を行うなど、違反の一掃に取り組まれたい。

2016年6月20日

広島県教育委員会

教育長 下崎邦明 様

部落解放広島県共闘会議

議長 佐古 正明

#### 就職差別撤廃に向けた要請書

平素より、部落差別をはじめ、あらゆる差別の撤廃と人権確立に向けて尽力されておりますことに心より敬意を表します。

さて、就職は一人ひとりの人間が生きていく上で極めて重要なものであり、雇用関係の入り口という意味においても大きな意味を持つものです。そのため、公正な採用選考が行われるよう、国や自治体、教育関係者、民間団体等が尽力してきたところであります。

しかし、今日においても差別につながる応募用紙の書式や面接での質問が後を絶ちません。さらには、戸籍不正請求事件等による差別身元調査事件や、「部落地名総鑑・復刻版」の販売を目論む者が現れる等、1975年の部落地名鑑事件の再発が懸念される由々しき事態となっています。



つきましては、就職差別撤廃に向けた、以下の取り組みを実施されますよう要請します。

記

1. 公正採用選考を徹底するため、「統一応募用紙」の趣旨、「職安法第5条の4」と「大臣指針」を周知徹底されたい。

周知徹底にあたっては、通年的な取り組みだけにとどまることなく、就職差別撤廃強化月間を設定いただくなど、関係行政機関や関係団体と連携しながら、啓発活動など幅広い県民運動を展開されたい。

2. 自治体や自治体関係機関においても、「統一応募用紙」の趣旨に違反する事象が多数あることが判明しており、県、市町をはじめ、事務組合・広域連合なども含め関係する行政機関に、あらためて公正な採用選考について周知徹底されたい。

また、その一環としてハローワークが実施する研修会への参加も促されたい。

3. 広島県高等学校教職員組合の調査によると、2015年度に「統一応募用紙」の学習をロングホームルームで実施した学校は27.6%、教職員研修を行った学校については25.9%となっており、2014年度より改善されたものの実施状況は深刻である。「統一応募用紙」の違反を見逃さず、無くしていくため、県およびに教育委員会と労働局の連携のもと「就職受験結果報告書」の取り組みを普及・徹底されたい。

2016年6月27日

広島県知事

湯崎 英彦 様

部落解放広島県共闘会議

議長 佐古 正明

就職差別撤廃に向けた要請書

平素より、部落差別をはじめ、あらゆる差別の撤廃と人権確立に向けて尽力されておりますことに心より敬意を表します。

さて、就職は一人ひとりの人間が生きていく上で極めて重要なものであり、雇用関係の入り口という意味においても大きな意味を持つものです。そのため、公正な採用選考が行われるよう、国や自治体、教育関係者、民間団体等が尽力してきたところであります。

しかし、今日においても差別につながる応募用紙の書式や面接での質問が後を絶ちません。さらには、戸籍不正請求事件等による差別身元調査事件や、「部落地名総鑑・復刻版」の販売を目論む者が現れる等、1975年の部落地名鑑事件の再発が懸念される由々しき事態となっています。

つきましては、就職差別撤廃に向けた、以下の取り組みを実施されますよう要請します。

記

1. 公正採用選考を徹底するため、「統一応募用紙」の趣旨、「職安法第5条の4」と「大臣指針」を周知徹底されたい。

周知徹底にあたっては、通年的な取り組みだけにとどまることなく、就職差別撤廃強化月間を設定いただくなど、関係行政機関や関係団体と連携しながら、啓発活動など幅広い県民運動を展開されたい。

2. 自治体や自治体関係機関においても、「統一応募用紙」の趣旨に違反する事象が多数あることが判明しており、県、市町をはじめ、事務組合・広域連合なども含め関係する行政機関に、あらためて公正な採用選考について周知徹底されたい。

また、その一環としてハローワークが実施する研修会への参加も促されたい。

3. 広島県高等学校教職員組合の調査によると、2015年度に「統一応募用紙」の学習をロングホームルームで実施した学校は27.6%、教職員研修を行った学校については25.9%となっており、2014年度より改善されたものの実施状況は深刻である。「統一応募用紙」の違反を見逃さず、無くしていくため、県およびに教育委員会と労働局の連携のもと「就職受験結果報告書」の取り組みを普及・徹底されたい。

### 新聞に見る「ヒロシマ」(5/27~6/26)

見出しから	日付	新聞
オバマ氏 きょう広島訪問	5.27	中国
オバマ米大統領 書面インタビュー	5.27	朝日
オバマ氏 広島訪問 「核なき世界」改めて決意	5.28	朝日
オバマ米大統領広島訪問 「核なき世界追求する勇気を」	5.28	中国
世界の関心 被爆地に 被害直視の時間短く	5.29	中国
核廃絶へ新たな起点 「訪問生かす行動を」	5.30	中国
オバマ氏広島訪問 「よかった」98%評価	5.30	中国
オバマ氏効果 入館倍増 原爆資料館	5.31	中国
核軍縮を担う人材に アジア5カ国外交職員 広島で研修開始	5.31	朝日
栗原貞子「ヒロシマというとき」韓国で翻訳版	6.1	朝日
「大統領訪問 平和の契機に」米学生ら 被爆者の証言聞く	6.1	中国
被爆者の思い 世界へ発信 高校生平和大使3人が意気込み	6.3	中国
筆先にヒロシマの願い 原爆死没者30万人に	6.4	中国
広島市内の被爆遺構巡る 小中学生が「平和キャンプ」	6.5	中国
オバマ氏の鶴 平和を乗せて 原爆資料館あすから展示	6.8	朝日
折り鶴の心 世界に届け オバマ氏作 原爆資料館で公開	6.10	中国
オバマ氏の願い 碑に 広島市検討	6.16	中国
米は核廃絶へ行動を 日本被団協 定期総会で決議	6.17	中国
伊方3号機 来月26日再稼働	6.18	中国
原爆症認定制 抜本見直しを 省庁などに被団協	6.18	中国
中学などで放影研授業 放射線の影響を解説	6.18	中国
核なき世界へ 22人決意新たに 高校生平和大使が結団式	6.20	中国
オバマ氏 地元で原爆展 10月にシカゴ	6.21	中国
援護法「被爆者」 定義を巡り対立 「黒い雨」訴訟	6.21	朝日
折り鶴の思い 米へお返し オバマ氏が手渡した2人の小中2校	6.21	朝日
中高生に届ける 「学ぼうヒロシマ」 証言や被害掲載	6.22	中国
オバマ氏に案内状送付へ シカゴ開催の原爆展で広島市長	6.24	中国

3 度目延長申請に理解	山口県知事 上関原発埋め立て免許	6.24	中国
「原爆焼」公開始まる	県歴博 来月3日まで	6.25	中国
秋葉前広島市長を派遣	原水禁 タヒチで集会や懇談	6.25	中国
平和 世界へどう発信	記念式典「誓い」小6が文案検討	6.26	朝日
被爆2世調査「健康」は6割	県被団協部会で報告	6.26	朝日
原爆小頭症患者 支え合い「古希」	きのこ会総会	6.26	中国

## 【 ご 案 内 】

### ■ 「ストップ！戦争法」7月街頭行動

◇開催日 7月19日（火）17時30分～18時30分

◇場 所 広島市本通り電停・青山前

### ■ 被爆71周年非核・平和行進

〔東部コース〕7月27日（水）～8月3日（水）

〔北部コース〕7月30日（土）～8月2日（火）

〔西部コース〕8月1日（月）～8月3日（水）

\* 集結式（原水禁・連合）8月3日 15時 原爆慰霊碑前

### ■ 被爆71周年原水爆禁止世界大会広島大会

①開会総会 8月4日（木）17時15分 県立総合体育館大アリーナ

②分科会 8月5日（金）9時30分 広島市内

③ひろば 8月5日（金）14時 広島市内

④まとめ集会 8月6日（土）9時30分 広島県民文化センター

⑤連合平和ヒロシマ集会 8月5日（金）17時 広島文化学園HBGホール

### ■ 被爆71周年原水爆禁止世界大会長崎大会

◇開催日 8月7日（日）～9日（火）長崎市